『女性の視点から避難所を考えませんか？』第４回　会議録

◆開催日　平成 26 年 11 月 22 日（土）　13:00 開始

◆場　所　四谷ひろば　Ｂ館３階　ライブラリー　避難所倉庫　グラウンド

◆参加者　新宿区危機管理課　係長ほか１名、四谷特別出張所担当
地域住民　13 名　計 16 人

配布資料：第三回議事録、アンケート（案）、レディス会紹介文（案）

13:00　開会　ライブラリーにて集合

あいさつ、新規参加者紹介
11 月 30 日（日）避難所訓練に配布するアンケート（案）、レディス会紹介文（案）の説明

13:15　備蓄倉庫・グラウンドにて体験　　内容：投光機組立と発電機作動、仮設トイレ組立

備蓄倉庫で、投光機や発電機、ガソリン、仮設トイレなどの置いてある場所確認
※奥のほうの、出口右棚にガソリン、左奥に発電機 3 台、投光機
今回は、危機管理課が貸出している訓練用発電機（ガソリン入り）を使用
グラウンドにて、順番に体験。機種によって、操作が違うことが判明。説明書を見ながら稼働させることに挑戦。アドバイスをいただきながら、どうにか成功。
左側のタンクレバーを横にして、チョークを引っ張り、オンにしたら、ヒモを引っ張る。エンジンがかかったら、エコのスイッチを押したりする。全員体験。
かかりにくかった反省の一つに、エコをオンにしたまま、メインスイッチを切っていただけだったことがあげられた。抑えきれないこともあるが、どうにかみんなクリアして、満足。できないことに悔しいと感じての挑戦があり、素晴らしいと感動。
発電機に延長ケーブルをつなぐと、遠いところにも配置できる。近くにコンロ等熱いものがあると破裂する恐れがあるので、要注意。エンジンをかけることに集中する人以外に、回りで安全確認の取れる人の存在も大事である。

14:00　備蓄倉庫にて体験　　内容：仮設トイレ組立　※時間の関係で、備蓄倉庫内で組立て作業。

グラウンドに設置するマンホール型トイレ。テントは透けない生地のようである。
車いすの人が利用するには軟い作りで危険である。館内の誰でもトイレを利用してもらうようにしていかないと危ない。　　※給水機の接続を予定していたが省略

14:35　茶話会＆テーブルごとの意見交換等

・実際にチャレンジして、エンジンがついたときには満足感。女性の力では、特にスターターを引くスピードや角度にコツがいることが分かった。
・災害時にまず何が必要かを考えながら倉庫の配置を考えたい。また、かなり埃っぽいためみんなで掃除をしながら、配置変えをしたい。避難所訓練の反省会で提案をして、避難所運営協議会と連携をとり作業。危機管理課も参加。配置をしたときには、中身がわかる写真のパウチを貼りたい。
・エプロンの予算がひろばとして承認された。30 日までに取寄せしてお披露目したい。色については、**ホットピンク**で一致。明るく暖かく目立つ。20 着購入。缶バッチで名札を作成。
・レディス会の位置づけとしては、全て知っている頼れる人ではなく、あくまでも「このエプロンをつけている人は、連携の図れる人」ということを目指して、個人にプレッシャーを与えることがないようにしたい。自分がわからなくても、誰かに聞いて連携して対応できることのできるヘルプの人。

※アンケート（案）、当日配布資料（案）は、皆さん方の意向として配布したいと思います。

15:10　閉会

危機管理課係長**より**　行政始動ではなく、自発的に始まった取り組みとして評価したい。今後に期待をしながら、支援と参加をしていきたいと考えます。

消防団所属メンバー　発電機操作で、真剣になりすぎて周りのことが見えなくなってしまう。周りに人がいて、相手に怪我をさせたり、自分が転んでしまう事故に繋がるので、安全管理を第一として欲しい。トイレの展示会に行った。携帯用に便利でお洒落な簡易トイレやノベルティに適した品や家庭に常備しておくと便利なトイレグッズを集めてみました。帰りに見て下さい。

【次回、レディス会　1 月 16 日（金）　10:00～ ライブラリーに集合】

次 回 テ ー マ：倉庫の中の整理を考えてみよう。必要順に手前と奥の配置を検討
用意するもの：模造紙・ポストイット等　パウチした備蓄品の中身の写真等